

接合手順

1 部品のセット状況を確認します。



2 継手部及び挿入部を清掃します。



3 潤滑剤をゴム輪の内面と挿し口外面に塗布します。



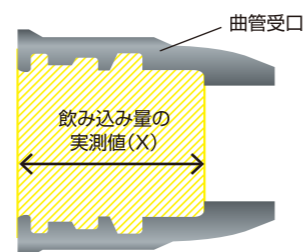
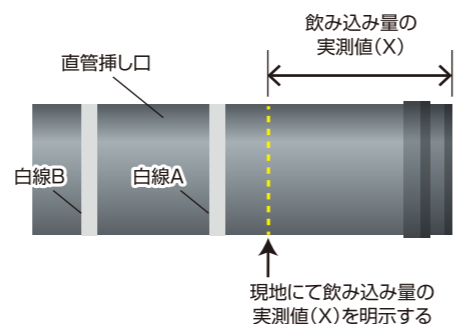
4 管を吊り降ろします。



5 挿入部を継手部にあずけます。(砂などの異物が付着しないよう十分気をつけてください。)



6 受口端面が白線A(挿し口端面に近い側)に到達するまで挿入します。また、曲管と接続する場合は、下の図に示すように曲管受口端面から受口奥部までの飲み込み量(標準値:129.5mm)を測定し、その実測値を挿し口外面全周に明示して下さい。



7 接続完了を確認します。



クボタ耐震型ケーブル保護管 GX-I形ダクタイトイル鉄管



株式会社クボタ <パイプシステム事業部>



本社阪神事務所 〒661-8567 兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号	TEL.(06)6470-5004
東京本社 〒104-8307 東京都中央区京橋2丁目1番3号	TEL.(03)3245-3161
北海道支社 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3丁目1番地54	TEL.(011)214-3140
東北支社 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目6番1号	TEL.(022)267-8922
中部支社 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目22番8号	TEL.(052)564-5151
中四国支社 〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目5番7号	TEL.(082)207-0537
九州支社 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号	TEL.(092)473-2431
四国営業所 〒760-0050 高松市亀井町2番1号	TEL.(087)836-3924

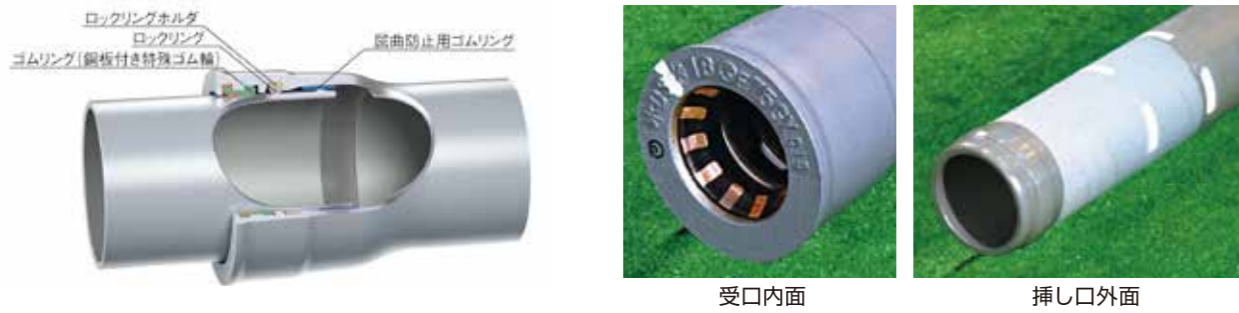
株式会社クボタ

特長 耐震性 長寿命

- ①管同士を接続するだけで管と管を電氣的に連続体とし、電話ケーブルの誘導障害を防ぎます。
- ②本製品は水道管等で使用される耐震型ダクタイル鉄管 (GX形) と同じ耐震継手を有しています。
耐震型ダクタイル鉄管は過去の巨大地震に耐えた実績があり、本製品もケーブル保護管としても安心してご使用いただけます。
- ③外面耐食塗装 (C-Protect) によって、100年以上の長寿命が期待できます。
- ④銅板付き特殊ゴム輪の圧縮力により高い気密性を確保します。

GX-I形の継手構造

■特殊ゴムには、銅板が取り付けられており、受口内面、挿し口外面の導電性塗料を介して管同士が電氣的に導電する構造となっています。

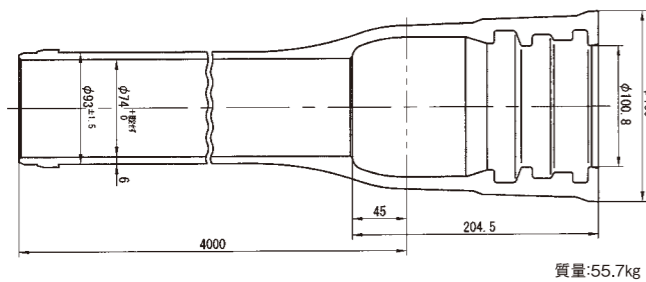


基本性能

項目	性能
引抜阻止力	196kN以上
気密性能	気圧294kPaの正圧および-78kPaの負圧で漏洩なし
導電性能	平均値0.17mΩ以下
マンドレル通過性能	4号マンドレル通過
継手伸縮性能	管長の±1% (±45mm)

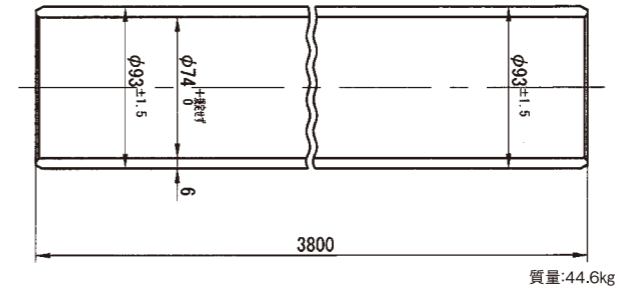
管の種類と構造

■75mmの差込み継手直管

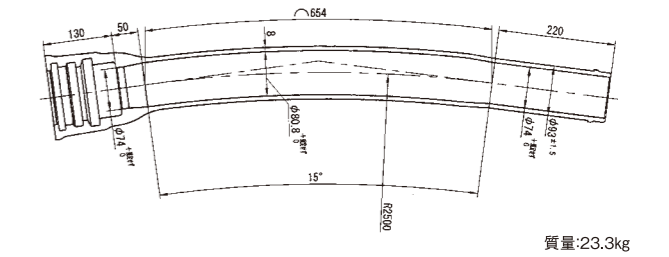


※出荷時、継手部に装着されています。

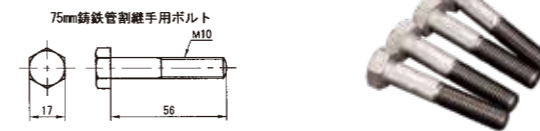
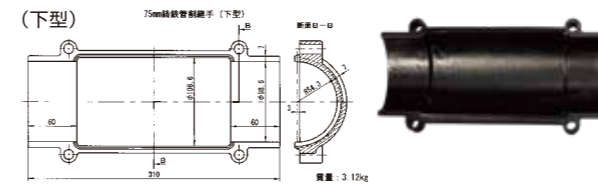
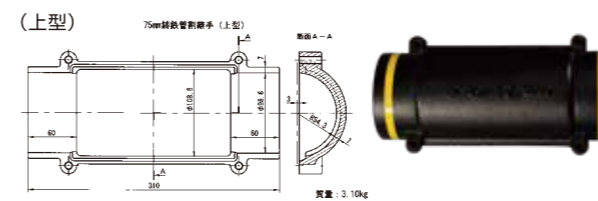
■75mm差込み継手直管 (継手部なし)



■75mm 15° 差込み継手曲管

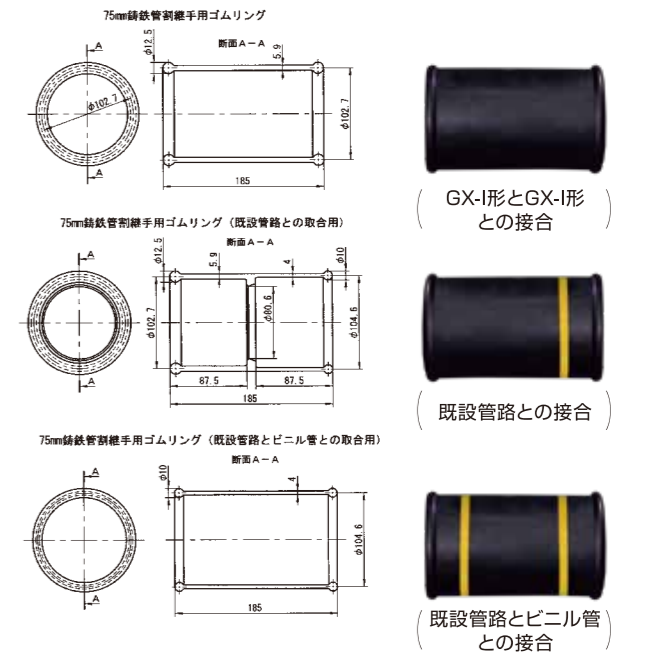


■75mm割継手



※異なる管同士または切管部を接合する際に使用します。

■75mm割継手用ゴムリング



施工例

